

# 2026 全日本プッシュスケルトン選手権大会

## 大会要項

1. 期日 2026年8月8日(土)
2. 場所 スパイラルプッシュトレーニング場(長野市中曾根 3700 番地 Tel026-239-3077)
3. 主催 公益社団法人日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟

### 4. 実施要項

#### (1) 実施種目

##### ●男子の部 ●女子の部

\*プッシュスケルトン専用のそりを1名で押し、2本の滑走の合計タイムによって順位を決定する。(但し、天候等の状況により1本のみの滑走によって順位を決定する場合がある。)

#### (2) 参加資格

●公益社団法人日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟(以下「日本連盟」という)に本年度登録をしているもの。日本連盟への登録が完了していない選手の場合は、参加申込締切日までに、大会主催者(事務局)にその旨を申し出ること。参加の可否については後日事務局より通知する)

選手登録に関する情報はこちら(<https://jblsf.or.jp/archives/8454/>)を参照のこと。

大会主催者連絡先(日本連盟): E-mail: [info@jblsf.or.jp](mailto:info@jblsf.or.jp)

●全日本プッシュボブスレー選手権大会との重複エントリーは可とするが、大会ごとに資格を満たし、参加費を支払うこと。

●傷害保険へ加入していること。(大会当日が保険対象日であるか確認のこと)

●未成年者の出場は、保護者の承諾書を添付すること。

●競技会は、公式トレーニングを1本以上行っていなければ参加出来ない。(不可抗力的事情により公式トレーニングに参加出来ない場合は、審判長が参加の可否を決定する。)

#### (3) 申込方法、参加費

●参加料: 一人 5,000円

**●選手登録をした各加盟団体から全日本プッシュスケルトン選手権大会の申し込み案内が届くので、その案内に従い申し込みをすること。(※直接、日本連盟宛てに申し込み・入金をすることは出来ない。)**

**●各加盟団体の推薦責任者は、原則としてJSPOコーチ資格を有しているものに限る。**

※2025年度より、本連盟主催の大会において監督・コーチは原則として(公財)日本スポーツ協会(以下「JSPO」という)公認スポーツ指導者の資格所有が義務となります。これは2022年にスポーツ庁が制定した『第3期スポーツ基本計画』に基づくもので、全中央競技団体が対象となっています。

●いかなる理由においても参加料の返却はおこなわない。ただし、日本連盟の責に基づく理由により選手権大会が中止になった場合は参加料を返還する。

●参加申し込みを行った者の参加料は、各加盟団体に責任をもって納付すること。

#### (4) 出場までの流れ

① 各加盟団体である長野、北海道、大阪、宮城連盟のいずれかを選択し、選手登録を完了する

※選手登録には別途登録料金が必要

② 選手登録をした加盟団体を通じ出場申し込みを行う（締め切りは各加盟団体により異なる）

※参加料は選手登録した各加盟団体から指定された口座に期日までに振り込む

③ 各加盟団体責任者が参加者リストを取りまとめ、主催者へ提出し受諾される

④ 当日の受付時間までに会場へ行き、選手権大会に出場する

#### (5) 日程

8月8日(土)	9:40～9:55	受付
	10:00～10:10	開会式
	10:20～10:50	公式トレーニング(2本)
	10:50～10:55	競技会ドロー
	11:00～11:25	競技会(1本目)
	11:25～11:35	ブレイクタイム(10分間)
	11:35～12:00	競技会(2本目)
	12:10～	表彰式

\* 競技の進行状況により日程を変更することがあるので、会場でのアナウンスに留意すること。

#### (6) スタート順

●各滑走とも、女子の部、男子の部の順にスタートを行う。

●トレーニングのスタート順は、大会前日までに大会運営側でドローを行い、2本ともドローにより決定したスタートナンバー順とする。

●競技の1本目のスタート順は、滑走前にドローを行い、決定する。

●競技の2本目のスタート順は、男女部門ごと1本目のタイムの下位順とする。

#### (7) 表彰

●男子の部、女子の部とも1位～3位について表彰する。

#### (8) 計時システム

●スパイラルまたは日本連盟所有の計測システムを使用し、1/100秒まで計測する。

#### (9) 大会ルール

●大会運営は、IBSFの競技規則を原則とし、その趣旨に則り運営が行われる。

●タイム計測は、スタート板より15m先に最初のフォトセルを設置し、その後の50mを計測する。

●選手は、スタートの合図後30秒以内にスタートのフォトセルを切らなければならない。

●2本の合計タイムが同タイムとなった場合、同率順位とする。

●計時システムの不具合によりタイム計測が出来なかった場合、ジュリーの承認を得て、選手のスタートの準備ができ次第ただちに再滑走することができる。

●選手が使用できる靴は、以下のとおりとする。

① 陸上競技用スパイクシューズまたはトレーニングシューズ

② IBSF 公認のボブスレー競技用シューズ

●安全のため、ヘルメットについて IBSF 公認のものの装着を推奨する。

●そりは、主催者指定のプッシュトレーニング用そりを使用することとし、そりに対する加工は認めない。

●その他、IBSF 競技規則による対応ができないものは、審判長の判断により決定する。

●いかなる理由においてもルール違反をした者は、審判長の判断に従うこと。

(10) その他

●本大会では日本連盟チームドクターおよびチームトレーナーが救急対応処置を行うが、本大会で生じた事故、選手の怪我等については主催者の過失によるものを除き、最終的には各選手の責任により処置するものとする。

●競技会中はチームトレーナーを個人のパフォーマンス向上のために利用することは禁止とする。

●各自の責任において十分にウォーミングアップをすること。

●大会当日が荒天の場合、前日までに大会中止が決定した際は、主催担当者が加盟団体事務局に通知するとともに日本連盟公式 SNS「X」と「Instagram」にて 20 時までに中止の投稿をおこなう。大会当日に大会開催可否を決定する場合は、キャプテンミーティングを実施して各加盟団体関係者へ通知するとともに日本連盟公式 SNS「X」と「Instagram」にて 9 時までに中止の投稿をおこなう。

6. 問い合わせ

全ての問い合わせは、各加盟団体代表者が取りまとめて、事務局に行うこと。

《公益社団法人 日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟 事務局》

E-mail: [info@jblsf.or.jp](mailto:info@jblsf.or.jp)